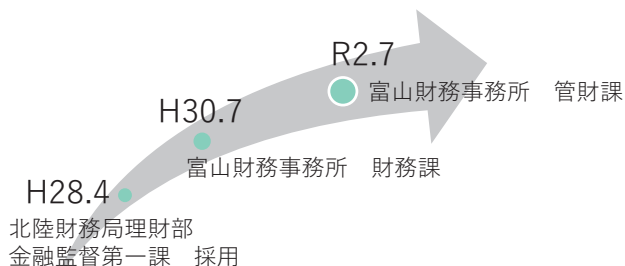




～ 採用から出向まで ～



小谷 栞里

Kotani Shiori

財務省出向者より

私は、平成28年度に北陸財務局に入局し、本局で金融監督業務、富山財務事務所では財政投融资、国有財産に関する業務を経験し、財務省国際局へ出向となりました。

北陸財務局では、管内の金融機関や地方公共団体と関わる機会が多く、地域の声を聞くという現場ならではの仕事に取り組んできたように思います。一方、現在私がいる国際局では、「日本全体」「世界の中での日本」を意識する機会が多くあります。本省庁への出向の機会を通じて、正に、国と地方の両方の視点から業務に取り組むことができるのも財務専門官の魅力の1つだと感じています。

私の場合、財務省に出向して最初の1年間は、為替市場課資金管理室において、外為特会(外国為替資金特別会計)が保有する外貨資金の管理・運用等に関する業務に従事しました。本省ならではの業務で、地方ではまず見ることのない莫大な金額に驚きながらも、それを取り扱うことは大変貴重な経験となりました。

その後現在に至るまで、調査課投資企画審査室において、外為法(外国為替及び外国貿易法)に関する業務に携わっています。法律上、外国投資家が防衛産業をはじめ重要な技術等を持つ日本の会社の株式を取得する場合には事前届出が求められており、国の安全等の観点から審査を行っております。「経済安全保障」にも直結するところ、制度所管官庁として、投資の自由と必要な規制のバランスについて常に考えつつ、事業所管省庁との迅速な調整を心がけています。日頃から、弁護士や事業者からの法令照会を受けており、業界特有の専門知識や法制度の背景について勉強が欠かせませんが、納得感のある対応ができると大変達成感があります。また、財務局とも接点のある部署のため、各地での制度周知や情報収集の成果を聞くなど、国の施策について制度設計と実行の現場両方を見届けられることも、本省に来たからこそと興味深く感じています。



▲省内案内板前にて

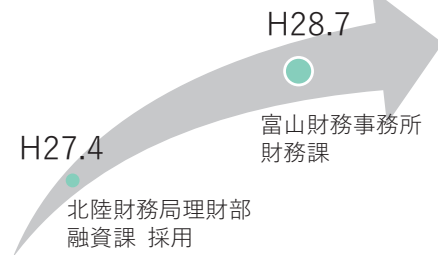


▲係での打合せ

最後となりますが、私は就職活動の時に「国と地域をつなぐ架け橋」というキャッチフレーズに惹かれて、北陸財務局を志望しました。愛着のある北陸三県のために働いてみたい！国全体、世界も視野にいたしたスケールの大きな仕事にも興味がある！どちらも大歓迎です。北陸財務局では、財政・金融という幅広くかつ専門的な業務、多様なキャリアプラン、素敵な上司・同僚が待っています。このパンフレットを読んでもくださったあなたと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしております。



～ 採用から出向まで ～



見砂 将之

Misago Masayuki

金融庁出向者より

私は平成27年に北陸財務局に入局し、財務局及び財務事務所において財政融資、経済調査といった業務を経験した後、平成30年7月から財務省へ出向し、令和3年7月からは金融庁へ出向しています。

ここでは、私が財務省・金融庁等に出向してから経験した業務を簡単にご紹介します。

財務省では地方課という部署に3年間所属し、財務専門官試験の運営業務(採用パンフレットの作成や試験運営等)や職員のワークライフバランスの推進等、人事関連の業務に携わったほか、全国の財務局で新たに発生する業務に対応するための部署の創設、各部署の配置人数の検討等の業務に携わりました。これらの業務を通じて、「財務局」という職場について、より深く知ることができたと思っています。

また、財務省在籍中に、たまたま「外務省に行ってみないか」と上司に声を掛けられ、2018年に大阪で開催された「G20 サミットの準備事務局」へ出向し、外国人報道担当者の対応業務(会議開催までの準備(案内作成等)、当日の受付や誘導)にも携わりました。会議の場では、英語での現場力が求められ、大変ではありましたが自身の英語力を磨くことができ、かけがえのない経験ができました。



▲国会対応には欠かせません

その後、金融庁へ異動し、1年目は協同組織金融室というところで、全国の信用金庫・信用組合の決算状況の分析業務に携わりました。分析業務では、約400先の信用金庫・信用組合の決算状況を、Excelを駆使して取りまとめる必要があり、日々の勉強が欠かせませんでした。数値のミス無く、分析資料が出来上がった際には、非常にやりがいを感じました。そして現在2年目に入り係長に昇進し、監督調査室というところで、主に金融庁の行政方針や政策評価の策定、国会対応の窓口業務等、まさに中央省庁ならではの政治的かつダイナミックな業務に携わっています。業務自体は、スピード感が求められ、分量も多く大変ですが、『自分が携わった』行政方針等の政策が金融庁HPに公表された時などは、その頑張りが報われた気がして、非常にモチベーションが上がりました。

上記でご紹介させていただいたのは、中央省庁の業務のほんの一部ではありますが、どの業務も、国全体に影響がある業務で、貴重な経験ができたと思っています。財務局は、地域のために働くこともでき、希望次第では中央省庁でも経験を積める等、柔軟かつ幅広い働き方ができる職場であると思っています。



▲北陸局からの出向者と休憩スペースにて談笑